

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達 人 名	安藤 仁志 先生（ 動物の達人 ）	所属	学校動物飼育支援委員会
実 施 校	安城市立志貴小学校		
実 施 日	平成21年9月16日（水曜日）		
実施学年・学級	3年（35人）		
教 科 等 名	道 徳	単元・題材名	ウサギとなかよくなろう
授 業 の 目 標	達人からウサギについてのお話を聞き、ウサギとふれ合うことを通して、命のあたたかさ、大切さを感じることができる。		
授業の実際	 1 達人の紹介を聞く。（教師） 2 達人のお話を聞く。（達人） 講演「ウサギとの付き合い方」 ・ウサギのからだの特徴を知り、驚いている。 3 ウサギとふれ合う。（教師・達人） ・ウサギにさわり、そのやわらかさに驚いている。 ・ウサギをだっこし、そのあたたかさに驚いている。 ・聴診器でウサギの心音を聞き、その速さに歓声をあげている。 4 達人に質問をする。（達人） ・なぜウサギには肉球がついていないのか。 ・なぜウサギの毛はふわふわしているのか。		
児童生徒の感想	・ウサギの心臓の動きがすごく速かった。自分の心臓よりもドクドクしていたのでびっくりした。 ・ウサギをだっこしたら意外と重かったのでびっくりした。 ・ウサギをだっこしたら、とてもふわふわしていて、あたたかいなと思った。 ・達人の先生のお話が分かりやすくてよかった。 ・達人の先生がウサギについてとてもくわしく教えてくれたので、初めて知ることがいっぱいあって勉強になった。 ・ウサギのオスとメスの見分け方が分かってよかった。		
教師の感想	達人のお話は分かりやすく、子どもたちの興味・関心をひく話し方であったため、子どもたちは集中して聞くことができた。また、ウサギとのふれあいの時間には、多くの子どもたちがウサギをだっこすることはもちろん、さわることも初めてだったため、多くの歓声が聞かれた。子どもたちはウサギをだっこしたときに、そのあたたかさや重み、やわらかさに気づくことができた。		